4　環境科学センターの主な業務の変遷

4．環境科学センターの主な業務の変遷

表4．1　環境科学センターの主な業務の変遷

（その１）

年　度	主　な　業　務	備　考
昭和45年	＊福井県公害センターの発足（10月１日） ［調整指導課、調査研究課…職員６名、兼務32名］ ＊交通渋滞地区の大気汚染調査開始 ＊大気汚染常時監視開始（敦賀市、芦原町） ＊河川の環境基準類型指定のための基準調査開始（～52年） ＊御清水川（武生市）流域の水銀調査（～46年） ＊中竜地区、敦賀地区のカドミウム調査（～46年）	
昭和46年	＊大気汚染常時監視体制の強化（坂井郡） ＊味真野地区に硫化水素自動測定機導入 ＊重金属（水銀）緊急総点検調査	＊福井県公害防止条例公布 （７月20日）
昭和47年	＊大気汚染測定車「みどり号」による巡回測定開始 ＊工場・事業場の排水基準遵守の検査業務調査開始 ＊福井・坂井地区の弗素化合物調査開始（～50年） ＊浮遊粉じん調査開始（～63年） ＊ＰＣＢ汚染調査（河川、底質、工場排水）開始（～49年） ＊公共用水域常時監視開始 ＊水銀メチル化について調査研究 ＊公害センター新庁舎完成（福井市原目町39-4）（11月） ［職員18名、兼務32名］	＊福井火力発電所運転開始 （９月）
昭和48年	＊大気汚染常時監視テレメータシステムの基本計画策定 ＊降下ばいじん（ダストジャー法）調査開始 ＊酸性雨調査開始 ＊悪臭発生源調査開始 ＊北潟湖の富栄養化現象について調査研究開始（～55年） ＊硫化水素等による金属腐食調査開始（～56年） ＊組織の一部改正 ［調整指導課、大気課、水質課…職員24名、兼務28名］	
昭和49年	＊海水浴場の水質調査開始 ＊フタル酸エステルの汚染調査 ＊河川の浄化機構の調査研究開始（～55年） ＊大気汚染テレメータシステム中央監視局舎完成（８月） ［職員26名、兼務28名］	
昭和50年	＊大気汚染テレメータシステム業務開始 ＊硫黄酸化物による植物影響調査開始（～53年） ＊湿性大気汚染調査開始（環境庁委託～54年） ［職員27名、兼務28名］	＊福井火力発電所脱硫装置稼働 （７月）
昭和51年	＊福井臨工環境管理計画に基づく調査開始 ＊有害物質（二硫化炭素）追加設定調査（環境庁委託） ＊福井市周辺都市河川の汚濁負荷量調査 ＊重金属・ＰＣＢ調査（環境庁委託） ＊二酸化硫黄測定機の蒸発損失影響の調査開始 ［職員27名、兼務21名］	
昭和52年	＊非特定重大障害物質（フタル酸エステル）発生源等対策調査 （環境庁委託） ＊酸性雨調査（分画調査）開始 ＊越前海岸における赤潮発生状況調査	＊11水域の環境基準類型指定の完了

表４．１　環境科学センターの主な業務の変遷

（その２）

年　度	主　な　業　務	備　考
昭和53年	＊大気発生源データの電算処理開始 ＊鉄道（在来線）の騒音・振動調査 ＊悪臭の地域指定のための実態調査開始 ＊「大気中硫黄酸化物による植物影響調査書」作成（11月） ＊染色工場排水の調査開始（～55年）	＊共同火力発電所稼働（11月） ＊光化学スモッグ注意報発令（敦賀地区…１回）
昭和54年	＊敦賀地域環境大気調査（環境庁委託） ＊「大気中硫黄酸化物による植物影響調査書（補遺）」作成（12月） ［職員27名、兼務21名］	
昭和55年	＊非特定重大障害物質（ホルムアルデヒド）発生源等対策調査（環境庁委託） ＊古紙再生事業所ＰＣＢ汚染調査 ＊敦賀湾海域水質調査（窒素、りん等） ＊三方五湖水域水理特性調査 ＊公害センター発足10周年記念行事の開催 ＊組織の一部改正 ［総務課、大気課、水質課、環境監視課］…職員27名、兼務16名	
昭和56年	＊三方五湖の水質常時監視開始 ＊公共用水域水質データ電算処理開始 ＊三方五湖の富栄養化現象について調査研究開始 ＊環境排出油の識別に関する調査研究開始（～58年） ＊着色水に関する調査研究開始（～59年）	
昭和57年	＊福井平野におけるスギの樹勢衰退要因調査開始（～60年） ＊自動車の排ガス、騒音、振動調査開始（～59年） ＊オキシダント濃度上昇の原因調査開始	
昭和58年	＊スパイクタイヤの道路粉じん影響調査開始（～60年） ＊未規制物質（水銀）大気調査開始（～59年） ＊第１次酸性雨調査開始（環境庁委託～62年） ＊環境情報のメッシュ化研究開始 ＊水生生物指標による水質評価の調査開始（～61年）	
昭和59年	＊湖沼の窒素及びりんの環境基準の類型指定のための基礎調査開始（水質精密、生産量、沈降量、溶出量調査）（～61年） ＊トリクロロエチレン等の実態点検調査（～61年） ＊水質発生源データの電算処理開始 ＊ 環境関連データを用いた地域環境特性の評価に関する研究開始 ［職員29名、兼務９名］	
昭和60年	＊バックグランド地域の酸性雨影響の基礎調査開始（～61年） ＊湖沼のプランクトン調査開始 ＊化学物質（陰イオン界面活性剤）環境調査開始 ［職員29名、兼務８名］	
昭和61年	＊炭化水素等影響調査（石油備蓄基地開放検査） ＊敦賀地区植物環境調査（事前）開始 ＊「 福井平野におけるスギの樹勢衰退要因に関する調査報告書」作成（12月）	

表４．１　環境科学センターの主な業務の変遷

（その３）

年　度	主　な　業　務	備　考
昭和62年	＊酸性雨通年調査（一雨採取法）開始 ＊大気中アスベスト調査 ［職員31名、内兼務２名］	＊窒素及びりんの環境基準の類型指定
昭和63年	＊第２次酸性雨調査開始（環境庁委託～平成４年） ＊繊布工場の騒音・振動防止マニュアル作成のための調査開始 ＊「北潟湖、三方五湖の水質改善対策調査・検討報告書」作成（６月） ＊テレメータシステム中央監視局の更新および中継回線の変更 ＊組織の一部変更	
平成元年	＊テレメータシステムの観測局無線機の更新 ＊酸性雨通年調査（ろ過式採取法）開始 ＊酸性雨共同調査（東海・近畿・北陸支部）開始 ＊湖沼の窒素及びりんの暫定基準見直しのための基礎調査開始 （河川増水時汚濁負荷調査、藻類の増殖試験調査） ＊トリクロロエチレン等の有機塩素化合物による地下水汚染実態調査開始 ＊第二次化学物質環境安全性総点検調査開始（環境庁委託） ＊ゴルフ場の農薬調査開始 ［職員32名、内兼務６名］	＊悪臭物質４項目（有機酸）追加
平成２年	＊テレメータシステムの観測局テレメータ装置の更新開始（６台） ＊酸性雨実態調査 ＊敦賀地区植物環境調査（事前）報告書作成 ＊湖沼の窒素及びりんの暫定基準見直し調査 （河川増水時汚濁負荷量調査、藻類の増殖試験調査） ＊「繊布工場の騒音・振動防止マニュアル」作成 ＊公害センター設立20周年記念行事の開催 ＊環境情報コーナーの開設 ＊公害センター環境監視業務活動のビデオ作成	＊光化学スモッグ注意報発令（敦賀地区…３回）
平成３年	＊組織の一部改正 福井県環境センターに改称 総務課、大気課、水質課、生活環境課、環境情報課の５課制 ［職員31名、内兼務８名］ ＊環境移動教室開始 ＊大気環境測定車「みどり号」の更新 ＊テレメータシステムの観測局テレメータ装置の更新（６台） ＊自動車交通公害防止対策調査開始（～平成４年） ＊未規制大気汚染物質規制基準検討調査（環境庁委託） ＊敦賀地区植物環境調査（事後）開始 ＊酸性雨全国調査（全公研）開始 ＊魚類へい死要因判定法の検討（～平成４年） ＊湖沼の窒素及びりんの暫定基準見直し調査 （水質精密調査、藻類増殖試験）	＊敦賀石炭火力発電所試運転（５月） ＊敦賀石炭火力発電所稼働（10月） ＊第７回全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部「支部研究会」開催（１月） ＊電気自動車「みどり号ミニ」導入（３月）

表4.1　環境科学センターの主な業務の変遷

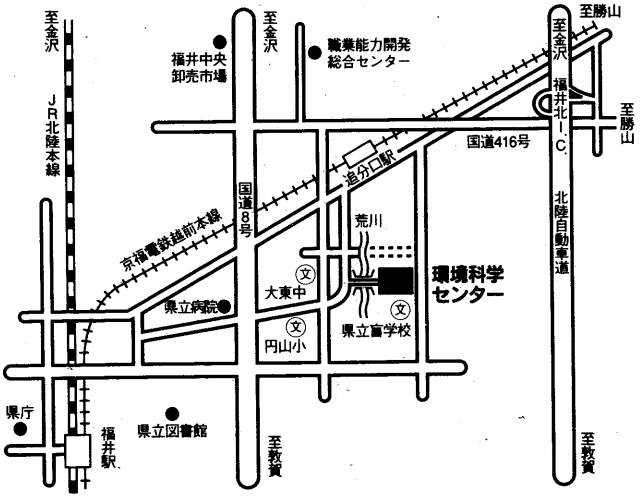
（その4）

年　度	主　な　業　務	備　考
平成4年	＊環境情報システム整備 ＊環境情報ネットワークシステム「みどりネット」の運用開始 ＊テレメータシステムの観測局テレメータ装置の更新（12台） ＊林内雨調査 ＊自動車交通公害防止対策調査とりまとめ ＊敦賀地区水銀調査 ＊「魚類へい死事故対応手引」作成 ＊窒素及びりんの暫定基準見直し調査 （水質濃度シミュレーション） 「平成3年度基準　富栄養化汚濁解析報告書」作成 「三方湖群と北潟湖のプランクトンに関する研究報告」作成 「職員31名、内兼務6名」	＊北潟湖・三方五湖水域に係る窒素及びりんの暫定目標の見直し　（3月） ＊水質環境基準の項目追加 （健康項目：15項目） （要監視項目：25項目） （3月）
平成5年	＊ テレメータシステムの観測局テレメータ装置の更新（6台） ＊ テレメータシステム・データ収録装置の更新 ＊ 湖沼の水質汚濁解析調査（流域負荷流出モデルの開発） ＊ アオコ発生解明調査（水平分布調査） ＊ アオコ除去基礎技術開発（動植物プランクトン調査） ＊ トリクロロエチレン等の大気測定、データ収集 ＊ 酸性雨樹林影響調査 ＊ 都市中小河川水質保全対策調査開始 ＊ 水生昆虫生息調査開始 「福井県の大型底生動物調査報告書（九頭竜川、日野川、足羽川）」作成	＊ トリクロロエチレン等大気環境指針（暫定値）の制定　（4月） ＊ 悪臭物質10項目(トルエン等)追加　（6月） ＊ 海域の窒素及びりんに係る環境基準等の設定　（8月） ＊ 排水および地下浸透水に係る規制基準13項目追加　（2月） ＊ 土壌環境基準１５項目追加　（2月）
平成6年	＊ テレメータシステム中央監視局の更新(平成7年4月新システム稼動) ＊ トリクロロエチレン等の大気環境指針設定物質調査開始 ＊ 支部酸性雨共同調査研究　後期調査開始 ＊ 酸性雨による土壌影響調査（土壌・植生モニタリング調査）・（環境庁委託） ＊ 酸性雨調査研究・陸水影響調査(夜叉ヶ池：環境庁委託事業) ＊ 湖沼の水質汚濁解析調査（水理モデルの開発） ＊ アオコ発生解明調査（発生機構調査） 「アオコ発生解明調査報告書　三方湖（福井県）」の作成 ＊ アオコ除去基礎技術開発（培養技術開発） ＊ 都市中小河川水質保全対策調査 （二夜の川、井の口川の水質濃度シミュレーション） ＊ 水生昆虫生息調査 「福井県の大型底生動物調査報告書（笙の川、井の口川、北川、南川、耳川）」の作成 「職員32名、内兼務6名」	＊ 排出水中に含まれる悪臭物質の規制基準の設定　（4月） ＊ 農薬の水質評価指針27項目の設定　（4月） ＊ 全国公害研究協議会東海・近畿・北陸支部総会開催　（9月）

表４．１　環境科学センターの主な業務の変遷

（その５）

年　度	主　な　業　務	備　考
平成７年	＊ 組織の一部改正 福井県環境科学センターに改称 管理室、大気科学部（大気環境研究班、環境情報研究班） 水質科学部（水質環境研究班、生活環境研究班、環境地質研究班）の１室２部５班制 ＊ 環境関連学術情報等拠点整備事業（インターネット接続） ＊ 敦賀地区植物環境調査報告書の作成 ＊ 支部酸性雨共同調査研究報告書の作成 ＊ 全公研酸性雨共同調査研究開始（酸性成分の動態調査） ＊ 湖沼の水質汚濁解析調査（水質モデルの開発） ＊ アオコ除去基礎技術開発（捕食試験） ＊ 流域別負荷量調査（北潟湖・三方五湖） ＊ 都市中小河川水質保全対策調査 （底喰川、磯部川、馬渡川の水質濃度シミュレーション） ＊ 水生昆虫生息調査 「福井県大型底生動物調査報告書（真名川、清滝川、磯部川、兵庫川、竹田川、田島川）」の作成 「職員31名（内兼務６名）」	＊ 悪臭防止法改正により「嗅覚測定法」の導入　（４月）



〈交通〉

●京福バス約15分（福井駅前から盲学校方面行き盲学校前下車すぐ）
●京福電鉄約10分（福井駅から勝山行き追分口駅下車徒歩10分）
●福井駅から車で約10分（約4Km）
●北陸自動車道福井北I.C.から車で約10分（約4Km）

福井県環境科学センター年報

第　25　巻
1　9　9　5
（平成7年度）

発行所　福井県環境科学センター
〒910 福井市原目町39－4
URL　http://www.erc.pref.fukui.jp/
E-mail　erc@erc.pref.fukui.jp
TEL　0776(54)5630
FAX　0776(54)5630